

社会貢献活動

富士フィルム・グリーンファンドの助成事業

「公益信託富士フィルム・グリーンファンド」(FGF)は、創立50周年事業として1983年に10億円を拠出し設立したもので、民間企業の委託による自然保護をテーマとした公益

2002年度のFGF助成先

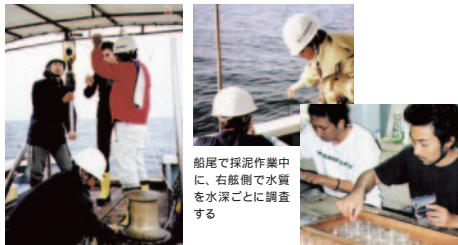
■有明海および島原湾の底生生物データベース作成

(熊本県・熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター)

有明海および島原湾の環境は、干潟の干拓、沿岸域の都市化、産業の重工業化、流入河川のダム建設等社会的要因によって変化してきました。

干潟浅海域の環境を良好に保全する方策を検討するためには、長期間、定期的に沿岸域から海域までの水質と底質を同時に調査して環境悪化のメカニズム解明が求められます。しかし、高価な海洋調査用機器は、限られた機関にしかありません。そこで、環境変化に最も敏感な沿岸住民が手軽に使える環境評価基準が必要になります。

本研究では、海洋・堆積環境の差異に応じてすみ分けられている底生有孔虫、介形虫、および微小貝類の分布と環境因子との関係を解析して基準を作成しました。そして、その基準が住民・自治体による共同調査で活用できるように、画像・分布のデータベース化を行っています。



フレガーコアラ(中央)によって、泥質堆積物を円柱状に採集する

底生有孔虫の生体を染色処理するために、ピペット袋中の堆積物を結晶皿に移す

環境情報のポータルサイト「環境goo」にFGFの取り組みを紹介。

2002年10月から、NTT-Xが運営する環境情報のポータルサイト「環境goo」内の環境gooTVで、当社の環境への取り組みを紹介しています。第1・2回は、社会への貢献という見地からFGFを取り上げ、その主旨や実績を動画にて公開しています。環境gooTVホームページ <http://eco.goo.ne.jp/goo-tv/index.html>

ポータルサイト

ポータル(Portal)とは玄関とか入り口という意味の単語です。代表的なポータルサイトとしてはgooやYahoo!などがあり、インターネット上で何らかの情報にアクセスしたいときに最初に訪れるWebページを指します。

信託としては国内で最初に設立されたものでした。毎年、自然環境の保全・育成に関する活動や研究に対して助成を行い、2002年度までに75件の助成・支援を行っています。

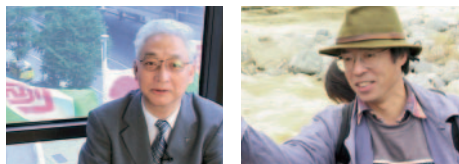
■多摩川中流域河床の「地層の野外観察」用の観察路と支援システムの構築

(東京都・東京学芸大学教育学部)

多摩川中流域の河床は、都心のなかで地層の観察や化石の採集ができる貴重な場所です。とくに東京都立川市緑地公園に隣接する河床は、130万年ほど前の地層が露出し、ソウヤシカの足跡、植物や貝類等の化石が産出し、陸地から浅海への環境変化が理解できる場所でもあります。

2002年から施行された新学習指導要領では、地層の観察と学校周辺の自然観察が必須となりました。そのため、多摩川中流域の河床は、地層の野外観察の絶好の場所となります。

本研究では、過去の東京の環境を理解するための教材化と実践を行い、「地層の野外観察」実習地の観察路の設定と地層の野外観察のための支援システムを構築しました。



富士フィルム環境・製品安全推進部 部長 亀岡公高(左)、東京学芸大学助教授 松川正樹さん(右)へのインタビュー(環境gooTVの1カット)

各事業所における地域活動の事例

■足柄工場

2002年5月、宮台開発技術センターとの合同共催による参加型ボランティア活動「グリーンエイド作戦in足柄and宮台」を実施し、地域清掃を行いました。2002年10月に狩川の大泉河原橋から神崎橋の草刈作業、種まきを実施しました。

■小田原工場

2002年5月の酒匂川一斉清掃に115名、6月の山王川・久野川一斉清掃には36名の従業員が参加しました。また、11自治会役員の方々をお招きし、工場の近況を説明し地元自治会のご要望等を伺いました。

■富士宮工場

2002年6月に潤井川・周辺道路清掃へ約500名、9月に田貫湖グリーンエイド作戦へ約200名の従業員が参加しました。

■吉田南工場

2002年11月、工場従業員および家族約250名が参加し、6.5kmのウォークラリー大会およびコース沿いのゴミ拾いを実施しました。

■宮台開発技術センター

2002年5月、小田原町久野方面でゴミを拾いながらのウォーキングに約300名が参加、その他、宮台隣地区の清掃、開成町の美化運動に参加しました。

■朝霞技術開発センター

2002年5月に朝霞技術開発センターおよび社宅周辺で、グリーンエイド作戦の一環としてゴミ拾いを実施しました。また、自治会長、朝霞市役所の方々を招き、環境管理活動について意見交換を実施しました。

植林活動

富士フィルム労働組合では、環境に関する社会貢献活動の一環として、「グリーンマイル基金」を設立し様々な活動を推進しています。中国植林活動もそのひとつで、大地に緑を取り戻そうというNGO活動「緑の協力隊」に毎年参加しています。2002年度も4月から5月にかけての8日間、新たな派遣先のホルチン砂漠に13名を派遣し、ポプラの苗木植えなどのボランティア活動を行いました。



ホルチン砂漠の苗木植えの様子

「かながわ水源の森林づくり」のパートナー企業に

神奈川県では水源地域の豊かな森林を次世代へ継承し、良質な水を安定的に確保するため、「水源の森林づくり事業」を推進しています。

1998年からは「水源林パートナー」制度を発足させ、県内企業・県民からの募金活動を行っており、富士フィルムでも2000年から寄付を行っています。また、足柄工場からは森林づくりボランティアに毎年参加しています。

講師派遣

富士フィルムでは、環境への取り組みをテーマにした授業や研修に積極的に講師を派遣しています。

小学校で「リサイクル講師」

2002年11月、板橋区立上板橋第二小学校で行われたリサイクル体験学習会に、2名の講師を派遣しました。授業では、「写ルンです」の循環生産の仕組みについて講義。子供たちは模型を使って製品分化の作業などを体験し、さらに工場で「写ルンです」循環生産の実際の様子を見学しました。



3年生60人にリサイクルのしくみを講義

タイでRC教育

日本レスポンシブル・ケア協会(JRCC)からの要請で、当社環境・製品安全推進部よりタイ化学工業会へ、2月に2週間講師を派遣しました。タイの企業、官庁、学校関係者らが参加し、当社のRCへの取り組みや考え方に關する講義を行いました。



グループディスカッションをする受講者

その他、神奈川大学経営学部、慶應義塾大学商学部での特別講義や、日本化学会主催「市民公開講座」で講師を務めました。